

資材 ナビ

東罐興産はポリオレフィン(PO)フィルム素材の栽培ベッド「実楽(みらく)るベッド」を販売する。イチゴの高設栽培や野菜の養液土耕栽培に向く。培地の容量を自由に調節できるのが特徴。防根不織布で仕切った排水溝を設け、水切れが良い。千葉県館山市の井上正之さん(49)は、イチゴ栽培の培地量が増え、生育が改善したと実感する。

フィルム製の高設栽培ベッド 東罐興産

培地容量自由に設計

根の張り改善 イチゴ凍らず

井上さんはハウス27棟、

計50坪でイチゴを栽培する。夏は苗生産、冬と春は観光農園として経営する。高設栽培は10年前に始めた。当時は他社のプランター

1式栽培ベッドを使っていたが、冬の冷え込む日には果実が凍ってしまうことがあった。井上さんは、プランター内の培地が少なく、

樹勢が不十分なのが原因と推測。東罐興産の製品説明会で「実楽るベッド」を知り、培地量を選べることに魅力を感じ、2018年に導入した。

「実楽るベッド」は、V字に折ったPOフィルム製の栽培ベッド。V字の底から10センチの場所まで不織布を溶着して仕切り、排水溝を付けた。パイプ製の高設ベンチに、V字の底が中心になるよう設置し、バックカバーなどで固定する。既存のベンチをそのまま活用できる。

井上さんは以前から使っていた高設ベンチに合わせ、幅を20センチにした。独自にベッドの外側にもう一枚、透明のビニールフィルムを重ねて強度を高めた。27坪のベンチ6列で導入。



「実楽るベッド」で培地量が増え、イチゴの生育が改善した(千葉県館山市で)

「実楽るベッド」は、V字に折ったPOフィルム製の栽培ベッド。V字の底から10センチの場所まで不織布を溶着して仕切り、排水溝を付けた。パイプ製の高設ベンチに、V字の底が中心になるよう設置し、バックカバーなどで固定する。既存のベンチをそのまま活用できる。

井上さんは以前から使っていた高設ベンチに合わせ、幅を20センチにした。独自にベッドの外側にもう一枚、透明のビニールフィルムを重ねて強度を高めた。27坪のベンチ6列で導入。

「実楽るベッド」は、V字に折ったPOフィルム製の栽培ベッド。V字の底から10センチの場所まで不織布を溶着して仕切り、排水溝を付けた。パイプ製の高設ベンチに、V字の底が中心になるよう設置し、バックカバーなどで固定する。既存のベンチをそのまま活用できる。

井上さんは以前から使っていた高設ベンチに合わせ、幅を20センチにした。独自にベッドの外側にもう一枚、透明のビニールフィルムを重ねて強度を高めた。27坪のベンチ6列で導入。



フィルム素材で培地量を自由に調節できる

(東罐興産提供)

実楽る ベッド

「実楽るベッド」は、V字に折ったPOフィルム製の栽培ベッド。V字の底から10センチの場所まで不織布を溶着して仕切り、排水溝を付けた。パイプ製の高設ベンチに、V字の底が中心になるよう設置し、バックカバーなどで固定する。既存のベンチをそのまま活用できる。

培地容量を自由に設計できるPOフィルム製の栽培ベッド。イチゴや野菜の養液土耕栽培に向く。フィルムは耐久性に優れ、約5年使える。厚さは0.15mmで、軽くて設置しやすい。標準規格のベッド幅は45センチ。ベッド幅や長さは生産者の要望に対応する。

フィルムが傷ついた場合は、農POフィルム専用テープで補修する。不織布は防根素材だが、長期間使うと根が絡んで排水不良を起すため注意。価格はオープン。問い合わせは同社、

電話03(5477)5111。